

# 化学療法プロトコール

申請日： 令和 2年2月18日

申請医師： 箱崎 将規

診療科： 外科

癌腫： 胃がん

実施区分： 入外共通

管理番号	C020071	レジメン名： HER+XP療法(初回のみ)(Tmab)
1コース期間	3週	総コース数

備考：

カペシタピ  
 ンC法:BSA<1.36㎡・1200mg/回 1.36㎡≤BSA<1.66㎡・1500mg/回 1.57㎡≤BSA<1.96㎡・1800mg/回 1.96㎡≤BSA・2100mg/回・HER2陽性(IHC3+またはFISH陽性)確認。・LVEFが十分であること。(55%以上)・初回投与時infusion reactionに注意。・ワルファリン、フェニトインの作用を増強するおそれがあるため、併用注意。PS0~2。・聴覚毒性(CDDP300mg/㎡以上)、末梢神経障害、眼障害、嗅覚障害に注意。・間質性肺炎に注意。・CDDP投与前後の1~2Lの輸液投与と尿量(2~3L/日)の確保を行う。手足症候群に注意。CDDP:腎障害時の投与変更例Ccr 60~46(25%減量) 45~3(50%減量) 30≥(使用中)

番号	薬剤名	基準投与量	投与量上限	規格	投与方法	投与スケジュール(day1等)
1	シスプラチン	80 mg/㎡		自動	点滴	day1
2	トラスツズマブ(ハーセプチン)	8 mg/kg		自動	点滴	day1
3	カペシタピン	2000 mg/㎡		手動	内服	day1~day14

備考：

## 実施内容

day0 注射 <1> 点滴 ソラト『D』輸液[500](ウイーンD) ☆3時間で点滴 1本	<7> 点滴 フロセド注20mg「NIG」(ラックス) 1A セイヨク(生食) <50mL>◆ 1瓶 ☆15分で点滴
day1 処方 <内服> 臨時 <4mg> テキサト錠4mg 2錠 朝1錠、昼1錠 ★化学療法翌日から 朝 昼 食後30分 3日 <内服> 臨時 カペシタピン 2000 mg/㎡ 朝 夕 食後30分 14日	<8> 点滴 ソラト『D』輸液[500](ウイーンD) 1本 ☆2時間で点滴 <9> 点滴 YDソラト『T3号』輸液500mL 1袋 ☆2時間で点滴
注射 <1> 点滴 ラゲック注 500mL袋 1本 ☆2時間で点滴 <2> 点滴 ラゲック注 500mL袋 1本 ☆2時間で点滴 <3> 点滴 トラスツズマブ(ハーセプチン) 8 mg/kg 生理食塩液 250mL 1袋 ☆90分で点滴 フェンチミン 100mL 1瓶 ★注射用水はトラスツズマブ溶解用 <4> 点滴 フロセド点滴静注バッグ0.75mg/50mL「タイ林」 1袋 フロセド点滴静注235mg/10mL 1瓶 【H】【6.6mg】 テキサト注射液 6.6mg/2mL 1瓶 【H】 テキサト注射液 3.3mg/1mL 1A ☆30分で点滴	day2 注射 <1> 点滴 ソラト『D』輸液[500](ウイーンD) 1本 ☆3時間で点滴
<5> 点滴 シスプラチン 80 mg/㎡ セイヨク(生食) 《500mL》 1袋 ☆2時間で点滴 ★全量500mLに調製:シスプラチン使用量分の生食を除去 <6> 点滴 硫酸Mg補正液2.46g/20mL 0.4管 セイヨク(生食) 《500mL》 1袋 ☆2時間で点滴	day3 注射 <1> 点滴 ソラト『D』輸液[500](ウイーンD) 1本 ☆3時間で点滴